

平成 27 年 11 月 28 日 薬学会近畿支部の在宅医療ワークショップで講演しました。



日本薬学会近畿支部主催の第 2 回在宅医療ワークショップが 11 月 28 日に大阪薬科大学で開催され、カイセイ薬局長田店杉本益規薬局長が「老人施設における多様な患者に対する在宅医療の在り方」について講演しました。

日本薬学会近畿支部では、昨年度から薬学生の「一日在宅体験」を実施し、薬学生が在宅医療の現場を見て体験し、理解を深めるよう企画しています。この内容は近畿支部大会において学生から発表されていますが、カイセイ薬局では、これに協力し、学生を受け入れています。

そして、この体験プログラムを受け入れた薬局の薬剤師に在宅医療推進における薬局薬剤師の役割と貢献について講演を依頼したのが「在宅医療推進ワークショップ」です。

育星会では、2005 年 9 月に調剤薬局として初めて在宅介護中心の薬局(長田店)を設立しましたが、杉本薬局長は、長田店の在宅医療への取り組みについて、往診同行、配達・薬剤配置、訪問業務を解説し、安全管理、情報共有、迅速な対応などを力説するとともに、薬剤師としての責任も強調し、薬学生への呼びかけも行いました。